



子どもの笑顔、未来のために、

きのと小 燦 だより

令和3年4月12日
学校だより 第1号
胎内市立きのと小学校

伸びゆく力を育むために、みんなで力を合わせて育てましょう

<http://tainai-ed.nxc.jp/kinoto-es>

1 番に「心はぐくみ」

校長 小林 隆裕

7日の入学式で24名の1年生を迎え、175名の子どもたちで今年度のきのと小学校がスタートしました。今年度の教育活動について、昨年度同様ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

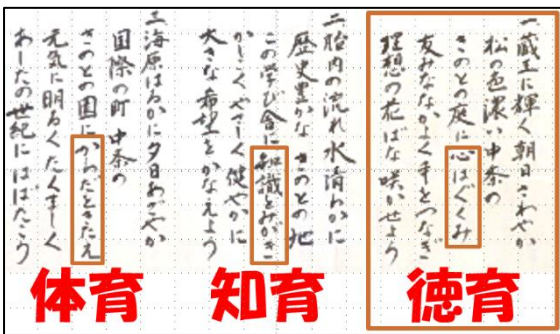
入学式前日の始業式で、子どもたちにこんな話をしました。



きのと小学校の教育目標は「かしくく やさしく たくましく」です。教室にも掲示されていますね。これらは、ちょっと難しい言葉で「知育・徳育・体育」と言います。どこの学校でも大抵この順番です。ところが、これが「徳育・知育・体育」の順になっている場合があります。実は、きのと小学校にもあります。どこでしょう？

校歌です。歌詞を見てください。体育館の額には1番から3番までそれぞれ5行で書かれています。3行目の後半です。1番の歌詞では「心はぐくみ」つまり「徳育」です。2番は「知識をみがき」つまり「知育」です。3番は「からだをきたえ」で「体育」です。「徳育・知育・体育」の順です。教育目標と違います。これ、どういうことでしょうか？

ここからは私の推理なのですが、聞いてください。3番まである曲も、テレビの歌番組では時間の関係で1番とサビしか歌われないことがありますよね。逆に言えば、2番3番はカットされても1番は必ず歌われます。ということは、1番の歌詞には、必ず歌ってほしいメッセージが込められている、とは考えられないでしょうか。「知育：かしくく♪知識をみがき」「徳育：やさしく♪心はぐくみ」「体育：たくましく♪からだをきたえ」どれも大切なのですが、1番の歌詞にある“心はぐくみ”は必ず歌ってほしい！という願いが込められているということです。



一年前の一学期の始業式は全校放送でした。その時にお話ししたことを繰り返します。

正しい心をもちましょう。どんなに「かしくく」「たくましく」なっても、頭と体を使う「心」が正しくなければ、何にもなりません。自分も、自分の周りの人も笑顔でいられるような心をもってください。誰かに嫌な思いをさせてそれを自分の喜びにするような人には、決してしないでください。笑顔でいる人を見て、それを一緒にうれしいと思える人になってほしいと思います。

まずは、あいさつを頑張ってみてください。あいさつは、誰にでもできます。すぐにできます。お金もかかりません。特別な技術もありません。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」そして「ありがとう」。笑顔で、元気よく、お互いがいい気持ちになれるような言葉を交わしていきましょう。朝、顔を見たら、「おはようございます」、日中は「こんにちは」、帰る時には「さようなら」。誰かに何かしてもらったら「ありがとう」。こうした言葉がたくさん聞かれる学校は、すばらしい学校になります。

きたえた心で、きたえた頭と体を正しく使える人になってください。一年間頑張りましょう！

きのと小学校は、本年度も「自分もみんなも大切に子ども」を目指して、教育活動を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

離任された先生方

3月25日、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、離任式を実施しました。令和2年度末で転退職された先生方は、6人です。離任された先生方からのメッセージを紹介します。



主査
後藤まり子



教頭
新井 達夫



教諭
猿子 尚子



養護教諭
井上 莉華



非常勤講師
本間 陽子



教諭
霜田 大将

主査 後藤 まり子（ご退職、再任用で新発田市立第一中学校へ）
きのと小学校には5年間、勤めさせていただきました。新しい出会いと共に、懐かしい顔やお名前をお聞きしながらの勤務はとても心強く、ありがたいものでした。地域の皆様、保護者の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

教頭 新井 達夫（新発田市立紫雲寺中学校へ）
きのと小学校区には前任の中学校も合わせると9年間お世話になりました。教頭という役目から、子どもたちばかりでなく、保護者の皆様や地域の皆様と一緒に活動をさせてもらうことも多く、本当にお世話になりました。きのと小学校での3年間は、学校がよりよくなっていく様子がよくわかり、とても楽しかったです。卒業した6年生を始め、新2年生から6年生の姿を見ていると「もったきのと小学校で一緒にがんばりたい」という気持ちでどんどんわいてきました。新しい学校でも同じ気持ちになれるようにがんばります。ありがとうございました。

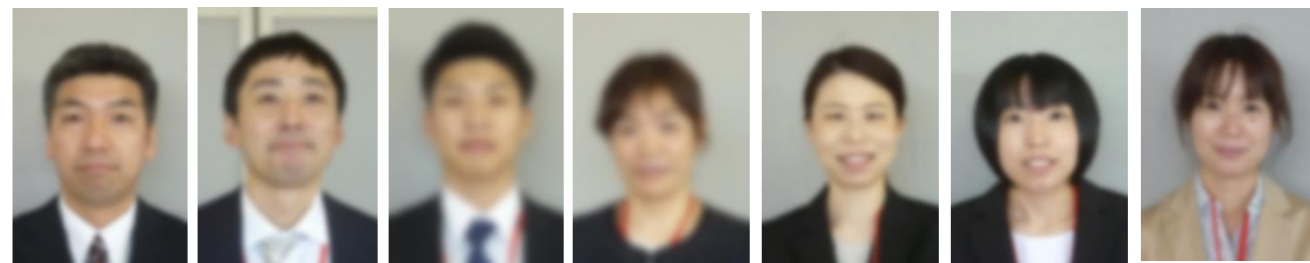
教諭 猿子 尚子（新発田市立住吉小学校へ）
なかよし広場で元気いっぱい遊ぶきのと小の子どもたち。なかよし班で、協力し、支え合う子どもたち。何事にも前向きに取り組む子どもたち。子どもたちのよさにつつまれた3年間でした。これからも、元気、やる気いっぱいのきのと小学校でいてほしいです。3年間ありがとうございました。

教諭 霜田 大将（柏崎市立日吉小学校へ）
3年間きのと小学校でお世話になりました。自然豊かなきのとの地で、元気いっぱい子どもたちと楽しく過ごした時間はかけがえのない思い出です。柏崎から皆様の活躍を願っています。

養護教諭 井上 莉華（田上町立田上小学校へ）
3年間、大変お世話になりました。新採用で、このきのと小学校に赴任してから、元気な子どもたちと楽しい時間を過ごし、たくさんの思い出ができました。保護者の皆様、地域の方々、ありがとうございました。

非常勤講師 本間 陽子（胎内市立中条小学校へ）
短い間でしたが、きのと小学校の素晴らしさを日々感じた2学期間でした。元気なあいさつ、美しい歌声、潑刺とした発表、6年生を先頭に仲よく協力する姿勢、気持ちよく働く態度、どれをとってもナンバー1です。素敵な学校でお世話になる事ができ、本当に幸せでした。ありがとうございました。

着任された先生方



教頭 湯浅 要 2年担任 船山 浩 3年担任 菅 聖翔 学習室1 水野香代子 養護教諭 近藤弥生 主事 関根彩花 スクールサポートスタッフ 野尻幸子

湯浅 要（新発田市立外ヶ輪小学校より）
教員人生で初めて胎内市勤務となりました。どんな新しい出会いが待っているのか楽しみです。教育目標「かしこく やさしく たくましく」の具現を目指して、子ども、教職員、PTA、地域がともに歩みを進められるように活動を充実させていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

船山 浩（見附市立葛巻小学校より）
見附市立葛巻小学校から来ました。胎内市は私の地元なので、きのと小学校に赴任できることを楽しみにしていました。子どもたちが笑顔で楽しく過ごすことができるよう一人一人に寄り添い応援していきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

菅 聖翔（新採用）
今年からきのと小学校で新採用として勤務することとなりました。故郷である胎内市の小学校に勤務できることを楽しみにしていました。きのと小学校の子どもたちと一緒に成長していきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

学習室1 水野 香代子（胎内市立中条小学校より）
きのと小学校は7年ぶりの勤務となります。明るく広い校舎で元気な子どもたちと一緒に、また楽しく過ごしていきたいと思ひます。きのと小学校の校歌はもう歌えます。どうぞよろしくお願いいたします。

近藤 弥生（阿賀町立三川小学校より）
阿賀町立三川小学校より参りました。子どもたちが笑顔で健康的に学校生活を送れるよう、精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

関根 彩花（三条市立栄中央小学校より）
三条市立栄中央小学校より参りました。笑顔の子どもたちに囲まれて仕事ができることをうれしく思ひます。子どもたちが笑顔で楽しく学校生活を送れるよう、微力ながら頑張りたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

野尻 幸子（新採用）
「きのと小学校のいろいろなことを覚えながら、子どもたちと先生方のサポートを一生懸命頑張りたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

よろしくお願ひします

元気いっぱい新入生です

4月7日（水）、きのと小学校第28回入学式が行われました。新入生を玄関で迎えるお世話係を6年生が務めてくれました。新入生に優しく接する6年生の姿に、学校のリーダーとしての自覚と責任感を感じました。また、6年生以外の在校生は、入学式にリモート参加し、画面越しの新入生を、姿勢を正して迎えていました。24人の新入生は、呼名の際、緊張しながらも元気に返事ができました。



令和3年度職員紹介

学習室



後列左から
 介助員 介助員 介助員 介助員
 渡辺チイ子 須貝佳子 岡部佐知子 高橋エリカ
 前列左から
 学習室1 学習室2 学習室3
 水野香代子 小林千絵 猿子恭子

低学年



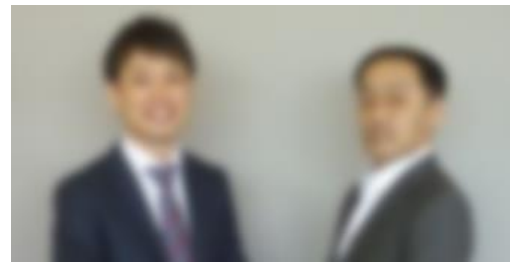
左から
 1年担任 2年担任
 渡部 大 船山 浩

中学年



左から
 3年担任 4年担任
 菅 聖翔 石塚ちあき

高学年



左から
 6年担任 5年担任
 安倍友司 庭山 晃

級外



後列左から
 技能員 野口伸介 児童支援 大川原伸 養護教諭 近藤弥生
 (続き) 主事 関根彩花 SSS 野尻宰子
 前列左から
 教頭 湯浅 要 校長 小林隆裕 教務主任 市島直子

この他にも、英語専科の平田淳子先生（胎内小）、初任者指導教員の吉田浩先生（胎内小）、地域コーディネーターの森田寿美子さん、若月晃子さん、配膳員の桐生ムツ子さんがきのと小の子どもたちのために、来校します。